

きょくひどうぶつ 棘皮動物

棘皮動物の仲間

大昔には色々な棘皮動物がいましたが、多くは絶滅し、現在生きているのはここに挙げる5つのグループです。

すべて海にすんでおり、淡水や陸上にすむ棘皮動物はいません。



ナマコ綱



ウミユリ綱：ウミユリ・ウミシダの仲間



アカクモヒトデ綱



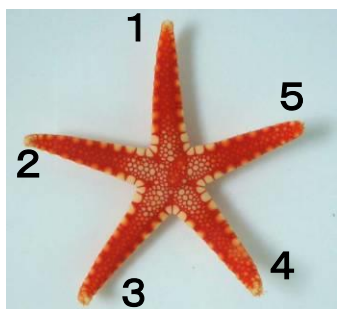
ウニ綱



ヤマトアカモンヒトデ綱

基本は5

5本の腕のある星型や五角形の形をしている、「5」が基本の動物です。ナマコと一部のウニを除き、体に前後左右がない放射状の体をしています。



骨片

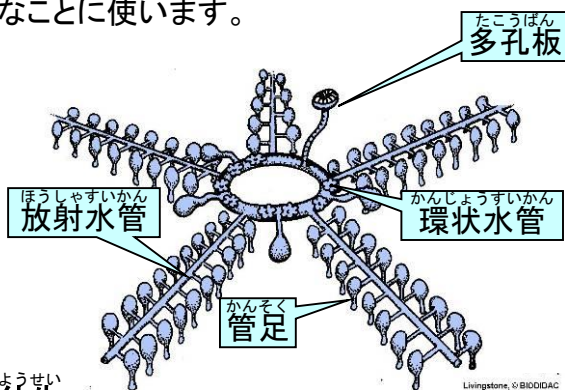
皮膚の下に小さな骨(骨片)があります。ウニではこれが集まって殻やトゲになっています。



アカオニナマコの骨片

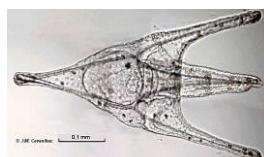
水管系

体の中をめぐる水管系は棘皮動物だけが持つ特徴的な器官。運動や呼吸など色々なことに使います。



幼生

棘皮動物は通常、幼生の時代をへておとなになります。幼生はおとなと違って、前後左右のある体で、多くはプランクトンとして過ごすしながら成長します。



←ウニのプルテウス幼生

ヒトデのビピンナリア幼生 →

